



©2005 石塚真一/小学館

第454号＜令和8年(2026年) 7月21日＞
信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員
島崎 三步 の「山岳通信」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています。
<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

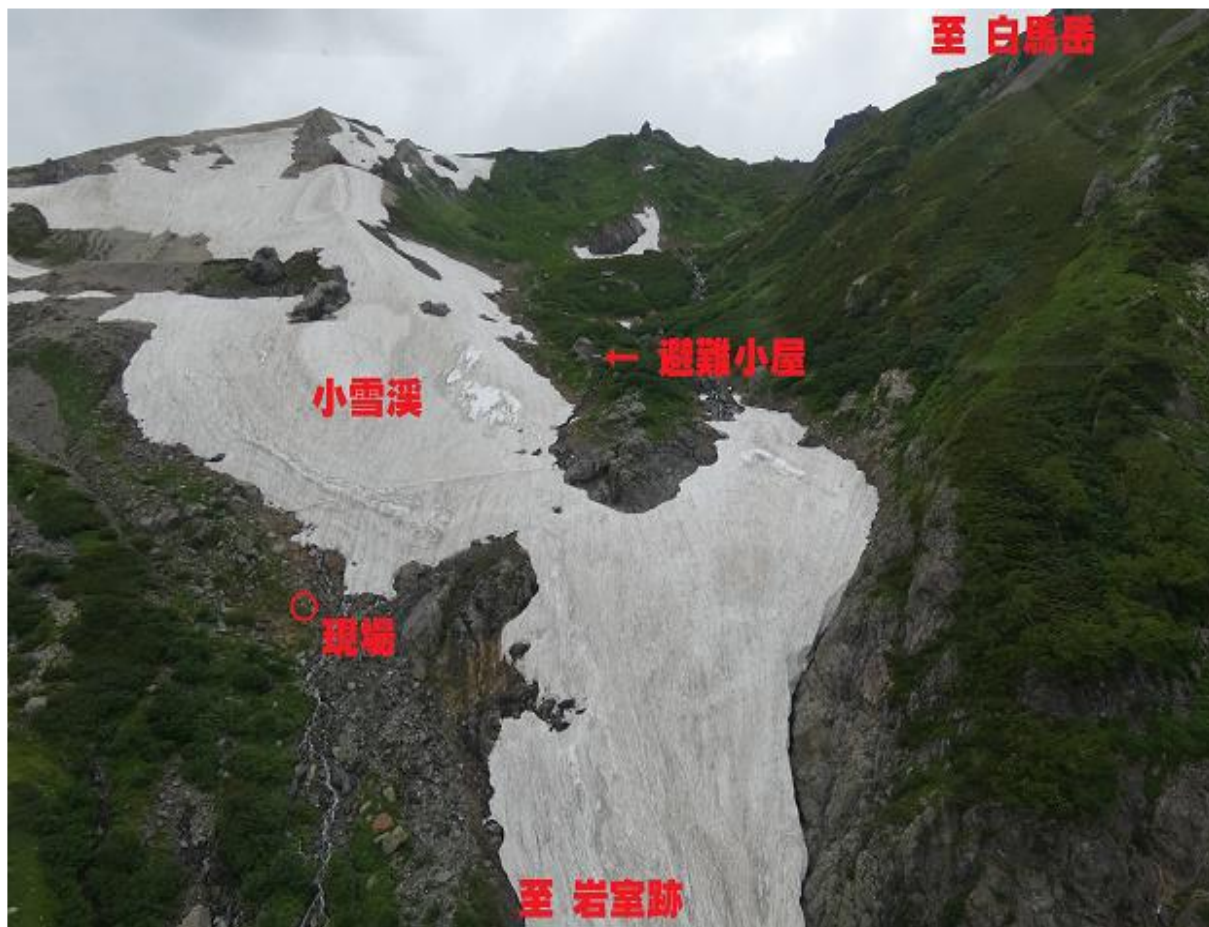
■先週(7/13～7/20)の山岳遭難発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
7/13 月	北アルプス 北穂高岳	男	67	死亡	発病	北穂高岳付近の山小屋内で倒れ、意識不明、7/14救助も死亡
7/15 水	ハケ岳連峰 天狗岳	男	27	負傷	転倒	2人パーティで天狗岳から下山中、岩場でバランスを崩し、転倒、負傷
7/15 水	北アルプス 前穂高岳	男	49	負傷	滑落	単独で前穂高岳から下山中、岩場でバランスを崩し、滑落、負傷



7/15 水	北アルプス 唐松岳	男	85	負傷	滑落	2人パーティで八方池から下山中、岩につまずき、滑落、負傷
-----------	--------------	---	----	----	----	------------------------------

7/15 水	北アルプス 白馬岳	男	78	負傷	滑落	単独で白馬大雪渓を登山中、小雪 渓上でスリップし、滑落、負傷
-----------	--------------	---	----	----	----	-----------------------------------



7/16 木	北アルプス 白馬乗鞍岳	女	70	負傷	滑落	2人パーティで下山中、雪渓上でスリ ップし、滑落、負傷
7/16 木	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	女	58	負傷	転倒	2人パーティで下山中、浮き石でバラ ンスを崩し、転倒、負傷
7/17 金	北アルプス 唐松岳	女	60	負傷	転倒	4人パーティで五竜岳に向け牛首付 近を縦走中、岩につまずき、転倒、 負傷
7/19 日	北アルプス 布引山	男	48	負傷	転倒	単独で冷池から五竜岳に向けて縦 走中、岩につまずき、転倒、負傷
7/19 日	北アルプス 白馬鑓ヶ岳	男	46	負傷	転倒	2人パーティで白馬鑓ヶ岳から猿倉 に向けて下山中、浮き石でバランス を崩し、転倒、負傷
7/19 日	北アルプス 焼岳	女	51	負傷	転倒	2人パーティで焼岳から上高地に向 けて下山中、岩につまずき、転倒、 負傷

7/19 日	経ヶ岳	男	63	死亡	不明	単独で登山中、何らかの原因により、行動不能
7/19 日	霧ヶ峰高原 八島ヶ原高原	男	53	無事救出	発病	単独で八島ヶ原湿原周辺を登山中、体調不良により、行動不能
7/19 日	南アルプス 笠松山	男	58	負傷	滑落	2人パーティで笠松山から便ガ島へ向け下山中、スリップし、滑落、負傷
7/20 月	北アルプス 燕岳	男	57	負傷	転倒	単独で燕岳へ向け登山中、岩につまずき、転倒、負傷
7/20 月	北アルプス 針ノ木岳	男	62	負傷	転倒	単独でスバリ岳へ向け縦走中、ザレ場でスリップし、転倒、負傷
7/20 月	北アルプス 槍ヶ岳	男	60	無事救出	疲労	5人パーティのリーダーとして北鎌尾根を登山中、脱水・疲労により、行動不能
7/20 月	北アルプス 槍ヶ岳	男	53	無事救出	その他	5人パーティで北鎌尾根P11付近を登山中、リーダーの男性が行動不能（上記遭難）となったため、技量不足により、行動不能
		男	56			
		男	43			
		女	51			



7/20 月	北アルプス 槍ヶ岳	男	66	無事救出	疲労	3人パーティで槍ヶ岳に向け東鎌尾根を登山中、疲労により、行動不能
7/20 月	八ヶ岳連峰 根石岳	男	74	負傷	転倒	単独で根石岳に入山し、根石岳周辺の山小屋内で転倒、行動不能

■山岳遭難発生状況～令和 8 年(2026 年)1 月 1 日～7 月 20 日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
R8 全体	141	23	1	59	80	163	83
R7 全体	156	29	3	75	74	181	107
前年同期比	-15	-6	-2	-16	+6	-18	-24
R8 単独登山	58	13	0	14	31	58	27
R7 単独登山	63	18	3	20	22	63	41
前年同期比	-5	-5	-3	-6	+11	-5	-14

■山域別発生状況～ 令和 8 年(2026 年)1 月 1 日～7 月 20 日

区分		件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷者	無事救出	遭難者 計
北アルプス	槍穂高	15	10.6%	1	0	7	11	19
	後立山	46	32.6%	13	0	18	27	58
	その他	10	7.1%	1	0	7	3	11
	計	71	50.4%	15	0	32	41	88
中央アルプス		10	7.1%	0	0	4	7	11
南アルプス		1	0.7%	0	0	1	0	1
ハヶ岳連峰		18	12.8%	4	0	7	9	20
その他の山岳		41	29.1%	4	1	15	23	43
計		141		23	1	59	80	163

■態様別発生状況～ 令和 8 年(2026 年)1月1日～7 月 20 日

区分	件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷 者	無事 救出	遭難者計
転・滑落	41	29.1%	8	0	36	0	44
転倒	20	14.2%	0	0	20	0	20
病気	10	7.1%	4	0	0	6	10
道迷い	23	16.3%	0	0	0	33	33
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	3	2.1%	2	0	1	0	3
落雷	0	0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	16	11.3%	2	0	0	14	16
不明・他	28	19.9%	7	1	2	27	37
計	141		23	1	59	80	163

■男女別・年齢別発生状況 ～ 令和 8 年(2026 年)1月1日～7 月 20 日

区分	男性					(人)	女					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19 歳 以下	0	0	1	5	6	32 29.1%	0	0	0	3	3	19 35.8%	9	51 31.3%
20 代	2	0	3	14	19		0	0	1	4	5		24	
30 代	1	0	2	4	7		1	0	2	8	11		18	
40 代	4	0	9	7	20	41 37.3%	1	0	2	1	4	19 35.8%	24	60 36.8%
50 代	5	0	8	8	21		1	0	9	5	15		36	
60 代	5	0	8	12	25	37 33.6%	2	0	4	2	8	15 28.3%	33	52 31.9%
70 代 以上	1	1	6	4	12		0	0	4	3	7		19	
計	18	1	37	54	110		5	0	22	26	53		163	
比率	67.5%						32.5%							

■ 長野県警察山岳安全対策課（県遭対協救助部）からの**ワンポイントアドバイス**

先週、長野県内では、20 件の山岳遭難が発生しました。

県内各地で遭難が相次ぎ、特に北アルプス周辺では、滑落や転倒による遭難が多発しました。また、脱水や疲労による遭難も複数件発生しています。

7月20日、北鎌尾根での遭難を例にあげると、5人パーティで行動中、チームリーダーの男性が疲労や脱水などの症状で行動不能に陥り、救助を要請、その後、残された他のメンバーも、「技量不足」で行動不能となりました。その後、全員がヘリコプターによって救助されました。

北鎌尾根は槍・穂高連峰周辺のバリエーションルートを集大成のようなルートです。一つのミスが重大な遭難に直結します。入山にあたり、絶対的な体力は必須条件です。尾根に上がればエスケープルートはありません。長大な尾根を「進む」か「戻る」かの選択肢のみです。不安定な岩場のきわどいトラバースやアップダウンの連続など、長時間の緊張下では、気力や体力が疲弊します。そうした中で、ルートファインディングや天候に応じたロープ確保などを、適切に判断する経験が必要となります。体力・経験を磨き、信頼できる仲間と一緒に挑戦してください。

長野県では7月20日に梅雨明けを迎え、夏山シーズン本番となりました。自身の体力・技術に応じた無理のない登山計画を立てましょう。「ゆとり」ある計画や行動が、安全な登山につながります。

【長野県山岳遭難防止対策協会からのお知らせ】

■登山計画書を作成・提出しましたか？

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/smartphone/tozankeikakusho.html>



①ゆとりある計画を立てて、登山計画書を提出してください！

②家族や知人にも必ず詳細な予定（行先）を伝えましょう！

※登山計画書を提出し、情報を共有しないと、入山場所や遭難地点の特定に時間がかかり、捜索活動が遅くなってしまいます。

※山小屋、地元自治体、観光協会等を通じて登山口までの道路や登山道の状態、残雪の状態など、現地の最新情報を事前に把握しておきましょう。

■ 横尾登山口・柵池自然園登山口に「啓発ゲート」設置しました！



長野県では、遭難件数、遭難者数ともに3年連続で過去最多を更新しています。遭難の要因として、登山計画や装備等の準備不足、体力・技術不足、登山ルールに対する認識不足などが指摘されています。このため、遭難防止対策の検討の一環として、夏山シーズンにあたり、登山者への安全啓発を目的とした「啓発ゲート」を試験的に設置しました。該当登山口から登山する際は、「登山準備・ルール確認票」の提出をお願いします。

期 間：令和8年7月18日(土曜日)～8月11日(火曜日・祝日) 25日間

場 所：北アルプス奥上高地横尾登山口(松本市) 及び
北アルプス柵池自然園登山口(小谷村)

内 容：啓発ゲートを通過する登山者に「登山準備・ルール確認票」を用いて安全登山に必要な準備が整っていることの確認を行います。登山装備など必要な準備が整っていない場合や、入山する時間が遅い場合には、入山の自粛をお願いする場合があります。

*「確認票」は、オンラインで事前提出すると大変、スムーズです。長野県のHPでご確認ください。

https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/keihatsu_gate.html

■夏の北アルプスで山岳遭難防止常駐隊 結隊式 **NEW!**

長野県大町合同庁舎で、7月13日、山岳遭難防止常駐隊の結隊式を行いました。長野県山岳遭難防止対策協会では、遭難が集中する夏から秋の本格的な登山シーズンに、登山者が集中する北アルプスで遭難防止活動を展開するため、「山岳遭難防止常駐隊」を設置しています。「常駐隊」は北アルプス北部と北アルプス南部に分かれ、登山相談やパトロールを行い、山岳遭難の防止に努めます。



<活動体制>

	北ア北部	北ア南部
主な活動山域	後立山連峰	槍ヶ岳・穂高連峰
隊員数	18名	14名
設置期間	7/13～9/27	7/13～10/13

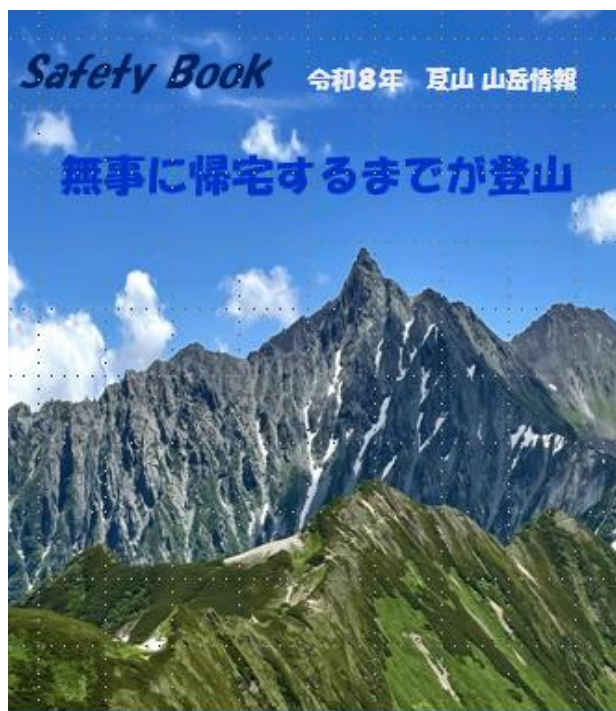
■ 信州の山岳遭難防止対策プロジェクト～寄付を募集しています。



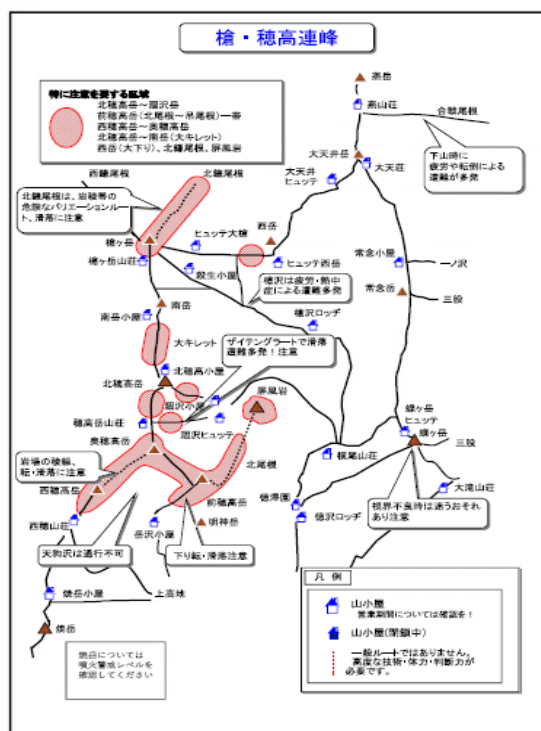
登山の楽しい思い出作りを陰から支える活動にご支援ください。長野県では、長野県山岳遭難防止対策協会の活動等を通じて、登山者の安全確保に向けた啓発活動や遭難救助に取り組んでいます。信州の山岳を安全に楽しんでいただくため、全国の皆様の温かいご支援を心からお待ちしております。なお、寄付金額1万円ごとに「安全登山啓発カード」を1枚差し上げます(最大4枚まで)。

以下の寄付応募サイト、または、二次元コードから皆さまの寄付を受け付けています。 <https://www.gachi-naga.jp/projects/4661/>

■ 夏山情報が完成しました！ **NEW!**



令和8年7月1日現在



北アルプスはじめ、南アルプス、中央アルプス、八ヶ岳連峰、長野県内の各山域の登山ルート上の危険ポイントなどを丁寧に解説。最新情報が満載です。「登山計画書」を作成する際の参考に！

長野県HP https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangakusounan/sangaku_tozansoudansyo.html

長野県警察HP <https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

■ ご活用ください！ 長野県の山岳関係の情報提供サイトです！

★長野県山岳遭難防止対策協会 常駐隊公式X **NEW!**

https://x.com/Nagano_sotaikyo/status/2077614617149513958?s=20

★長野県警察 山岳遭難救助隊 公式X

https://x.com/NAGANO_P_M_R/

★信州 山のグレーディング ⇒ その山はあなたの实力に見合っていますか？

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>

★長野県警察 山岳情報 ⇒ 1週間ごとの最新の遭難統計を確認できます！

<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

★長野県 山岳情報

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangaku/index.html>

* 統計の内容は、長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。

sangaku@pref.nagano.lg.jp

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝